

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 2015年 3月 10日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
一般社団法人日本がん看護学会	
企画名	
在宅緩和ケアーがんがもたらす心身のつらさを和らげて、最期まで自分らしくー	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
日本がん看護学会誌送付時のチラシ封入, 横浜市内病院 80 か所へのチラシ配布, 読売新聞, 神奈川新聞, 朝日新聞, 神奈川県立高校, タウンニュース(西区、中区、旭区), 神奈川県立がんセンターHP, 第29回一般社団法人日本がん看護学会学術集会HP, で広報した。	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2015年3月1日
実施場所	パシフィコ横浜 会議センター メインホール
参加人数	497名
効果について(アンケートの結果など)	
緩和ケアを受けながら、最期まで在宅で療養生活を続けることができることについて理解できたとの回答が大半を占めた。以下の自由記載があった。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ これからも、このような内容の講座を続けて下さい(複数回答) ・ 死についての話を避けてはならないということが理解できた。 ・ 具体的なケアなしでの傾聴は意味がないこと、ついたえていきたい。 ・ 余命半年から1年と言われている。聴きに来て本当によかった。 	
その他報告	
チラシについては、 http://jscn29.umin.jp/pgm/index.html に、アップしております。	

※公式ホームページ(緩和ケア.net)への掲載について

(掲載してもよい) 掲載しないでほしい)